

## 世界医師会プレスリリース

2022年3月9日

### 医師の団体がウクライナと同僚を支援

世界医師会（WMA）は、欧州医師会フォーラム（EFMA）及び欧州医師常設委員会（CPME）と共に、ウクライナの医師に医療物資を支援するための基金を立ち上げた。WMA 会元会長のレオニード・エイデルマン教授の監督の下、3 団体は、近隣諸国の医師組織と協力して、ウクライナと同僚が患者を治療できるように、医薬品や人道支援物資で支援するための寄附金口座を開設した。

昨日、日本で開催された記者会見において、日本医師会の中川俊男会長は、世界医師会の指定口座に1億円の寄附金を送ったことを公表した。中川会長は、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻がウクライナ国民に甚大な被害をもたらした現状を憂慮しているとし、全国の医師会や会員に対して寄附を募っているとした。そして、WMA は、医薬品や医療物資の極端な不足だけでなく、ウクライナの医療施設への攻撃が増加している事態を懸念していることを述べた。

ハイジ・ステンスミレン WMA 会長は、「この寛大な寄附に心から感謝いたします。ウクライナから要請を受けた医療物資のうち、最初の搬送分を調達する取り組みを開始しました。こうした活動への支援を会員に呼びかけています。緊急な支援が求められているのです。」と述べた。そして、「近隣諸国がウクライナからの避難民の支援に取り組んでいる多大なるご尽力を称賛いたします。しかし、こうした活動により、自国の受容力の限界にすぐに達してしまうであろうことを痛感しています。」とした。